



とびら

# 本の扉を あけてみよう

ぐんまの小中学生に贈る<sup>おく</sup>131冊





GREETING

群馬県教育委員会では、小中学生のみなさんが  
たくさんの本に出会うきっかけとなることを願って、  
このたび、ブックリスト「本の扉をあけてみよう」を作成しました。

このブックリストで紹介している131冊の本は、学校や図書館、そして  
県民の方から、小中学生に読んでもらいたい本をあげてもらい、多くの方が  
すすめる本を中心に選んだものです。

物語やしぜん・科学など、さまざまなジャンルの本を選んでいきますので、  
まずは、興味のある本から手にとってみてください。  
自分で読むのは難しいかなと思ったら、  
まわりの大人に読んでもらうのもよいかもしれませんね。

みなさんがこれまで知らなかったことや見たことのなかったものが、  
本にはたくさんついています。

さあ、本の扉をあけてみよう！



このブックリストの使い方

次の4つの年齢区分にわけて  
本を紹介しています。

小学校・低学年向き

小学校・中学年向き

小学校・高学年向き

中学生向き

※この区分はあくまでも目安です。

絵本をふくめ読む本に年齢制限はありませんので、興味・関心や読書力にあわせて選んでください。

それぞれの本にはジャンル表示などを入れ、  
どんな内容かすぐわかるようになっています。  
選ぶときの目安にしてください。

●ジャンル

- 物語 しぜんと科学 くらしと社会
- ノンフィクション 生き方・考え方 詩

●絵本

📖 絵本

●学校図書館で貸出しの多い本

★ 人気

学校や図書館、県民の方からの推薦コメントも吹き出しに掲載しています。本の紹介文とあわせて、参考にしてください。

心の奥の優しさを感じる本。シリーズもあり、低学年の読書にぴったり。



## 小学校・低学年向き



### ともだちや

物語 絵本

作：内田麟太郎  
絵：降矢なな  
出版社：偕成社

キツネは一時間百円でともだちになるという<ともだちや>をはじめました。最初のお客さんは、クマ。お金をもらってともだちになってあげるのですが…。キツネとオオカミのともだちコンビによる「おれたち、ともだち！」シリーズの第一作目です。

「ともだち」について子どもなりに考えながら楽しく読み進められます。



### りんごかもしれない

物語 絵本

作：ヨシタケシンスケ  
出版社：ブロンズ新社

テーブルの上にりんごがおいてありました。でも、もしかしたら、これはりんごじゃないかもしれません。もしかしたら、大きなサクラランボの一部かもしれませんし、心があるのかもしれません。実は、宇宙から落ちてきた小さな星なのかもしれません。「考える」ことを果てしく楽しめる絵本です。

ヨシタケさんの本の中でも「一押し」です。



### わすれられないおくりもの

物語 絵本

作・絵：  
スーザン・バーレイ  
訳：小川仁央  
出版社：評論社

だれからもたよりにされ、したわれていたアナグマが死んでしまいました。かけがえのない友を失った悲しみで、みんなはどうしていいかわかりません。でもアナグマは、野原のみんな一人一人に、すてきなおくりものをのこしていきました。「死」の意味をやさしく温かく伝えてくれます。



### おこだでませんように

物語 絵本

作：くすのきしげのり  
絵：石井聖岳  
出版社：小学館

しかられてばかりの少年が、七夕に飾る短冊に書いたお願いとは何だったのでしょうか？ それを見た先生、そして、その話を聞いたお母さんは、どんな反応をしたでしょう。いつもしかられるがわ側の子どもから、しかってしまう大人まで、読んだひとの心にひびく物語です。



### おまえ うまそうだな

物語 絵本

作・絵：宮西達也  
出版社：ポプラ社

アンキロサウルスの赤ちゃんがひとりぼっちで泣きながら歩いていると、「ひひひひ、おまえうまそうだな！」と大きなティラノサウルスがあらわれます。赤ちゃんは大ピンチ！のはずが…。

心の奥の優しさを感じる本。シリーズもあり、低学年の読書にぴったり。



### 100万回生きたねこ

物語 絵本

作・絵：佐野洋子  
出版社：講談社

100万回生まれかわり、100万回生きたねこがいました。あるときは王さまのねこ、あるときは小さな女の子のねこ、そしてあるとき、のらねこに生まれ変わりました。このりっぱなとらねこは、一匹の白いねここと出会い…。



## 小学校・低学年向き



### 教室はまちがうところだ

物語 絵本

作：蒔田晋治  
絵：長谷川知子  
出版社：子どもの未来社

みんなの前で手をあげて発表するときの、ドキドキする気持ち、だれもが経験しているはず。そんな子どもたちを「まちがえることをおそれちゃいけない」と励まし、背中を押してくれるような力強い言葉で語りかけます。親や教師にも読んでほしい一冊です。



### なまえのないねこ

物語 絵本

文：竹下文子  
絵：町田尚子  
出版社：小峰書店

主人公のねこは、ひとりぼっちの「なまえのないねこ」。そんなねこはある日、お寺の飼いねこに「自分で好きな名前をつけたいじゃない」と言われて、自分にぴったりの名前を見つけるために町をさまよいます。町を歩きながら、ねこは自分が何を求めているのか気づいていきます。



### ずーっとずっとだいすきだよ

物語 絵本

文・絵：  
ハンス・ウィルヘルム  
訳：久山太市  
出版社：評論社

だいすきな犬のエルフィーが死んでしまいました。仲よしだったぼくは悲しいけれど、ぼくには、ひとつ、なぐさめがありました。それは…。ことばで伝えることの大切さを教えてくれます。



### こんとあき

物語 絵本

作：林明子  
出版社：福音館書店

あきが生まれたとき、おばあちゃんが作ってくれたきつねのぬいぐるみ、こん。あきのお守り役として大かたつやくしていたこんですが、そのうちに、あきがこんの背を追い越していきます。古くなったこんのうでを直してもらおうと、こんとあきはきしゃに乗っておばあちゃんのところに会いにでかけます。

たが互いがかけがえのない存在であるこんとあきの冒険の物語です。



### どんなかんじかなあ

物語 絵本

文：中山千夏  
絵：和田誠  
出版社：自由国民社

目がみえなかったり、耳がきこえなかったり…。いろいろな人の立場になって「どんなかんじかなあ」って想像してみると、いままで思っていたこととちがうことが見えてくるかもしれません。読み終えた時、まわりの人に対して優しくしたいという気持ちが生まれてくるような本です。



### 王さまと九人のきょうだい

物語 絵本

中国民話  
訳：君島久子  
絵：赤羽末吉  
出版社：岩波書店

子どものいないおじいさんとおばあさんのところに9人も赤んぼうが生まれました。<ちからもち><くいしんぼう><はらいっぱい><ぶつてくれ>…変わった名前のこのきょうだいが成長したとき、王さまがつぎつぎと難題をふっかけてきました。中国の少数民族に伝わる民話です。

繰り返しの面白さと9人のキャラクターの面白さで満足する一冊。



### しゅくだい

物語 絵本

原案：宗正美子  
文・絵：いもとようこ  
出版社：岩崎書店

学校でめえこ先生が出したしゅくだいは、なんと「だっこ」。「えー」「はずかしいよー」「やだー」子どもたちは口々に言います。ちょっとはずかしいけれど、うれしいしゅくだい。もぐらのもぐくんは、ちゃんとしゅくだいできたかな？

がんばり頑張っている1年生の気持ちをほぐす絵本です。





# 小学校・低学年向き

## いろいろへんないろのはじまり



物語 絵本

作：アーノルド・ローベル  
訳：まきたまつこ  
出版社：富山房

昔、世界には色がありませんでした。そこで魔法使いが、青、黄、赤と、色のある世界をつくっていくのですが、一つの色だけでは、みんながなんだか落ち着きません。そこで魔法使いは、色を混ぜ合わせてみました。一体どうなったのでしょうか。「がまくんとかえるくん」シリーズで有名なアーノルド・ローベルの作品です。

## エルマーのぼうけん



物語

作：ルース・スタイルス・ガネット  
絵：ルース・クリスマン・ガネット  
訳：わたなべしげお  
出版社：福音館書店

年をとったのらねこから、りゅうの子どもがどうぶつ島にとらわれているはなしを聞いたエルマーは、りゅうの子どもを助けるぼうけんの旅に出発します。エルマーは、ライオンなどの恐ろしいどうぶつたちから、りゅうの子どもを助け出すことができるのでしょうか。

ぼうけんもの おうとう 冒険物の王道。ワクワクドキドキ、お話の中で楽しめます。

## かいじゅうたちのいるところ



## かいじゅうたちのいるところ

物語 絵本

作：モーリス・センダック  
訳：じんぐうてるお  
出版社：富山房

いたずらっこのマックスは、おおかみのぬいぐるみを着ておおあばれ。とうとうお母さんに寝室にほうりこまれてしまいました。すると、寝室はいつのまにか森になり、そこへ波が寄せてきてマックスは船に乗りこみます。そしてたどり着いたのは「かいじゅうたちのいるところ」。王さまになったマックスは、うたっておどって楽しめますが…。

## かぜのでんわ



物語 絵本

作・絵：いもとようこ  
出版社：金の星社

山の上に一つの電話があります。大切な人と話をするために今日も誰かがやってきました。でも、この電話には電話線はつながっていないのです。それなのに人々が次から次へと集まってくるのはどうしてでしょう？ 岩手県大槌町に東日本大震災のあと設置された「風の電話ボックス」をモデルにした絵本です。

## スーホの白い馬



物語 絵本

再話：大塚勇三  
画：赤羽末吉  
出版社：福音館書店

貪しいけれど働き者で歌がうまい羊飼いの少年スーホ。スーホに草原で拾われた白い子馬。赤い着物を着たスーホとりっぱに育った白い馬との物語が大平原を舞台に描かれています。モンゴルに伝わる楽器「馬頭琴」の由来である民話です。

## ふたりはともだち



物語

作：アーノルド・ローベル  
訳：三木卓  
出版社：文化出版局

がまくんとかえるくんはともだち。お手がみをもらったことがないというがまくんに、かえるくんはお手がみをかいてかたつむりくんに配達をたのみますが…。教科書にもものっている「おてがみ」など5つのおはなが入っています。ふたりのやりとりで心温まる「がまくんとかえるくん」シリーズの一冊です。

## おおきなきかほしい



## おおきなきかほしい

物語 絵本

文：佐藤さとる  
絵：村上勉  
出版社：偕成社

「ぼく、大きな木がほしいなあ。」りすやことりが住み、居心地のよい見晴らし台がある大きな木。季節それぞれに、かおるの想像はふくらんでいきます。かおるが想像した大きな木には、子どもたちの夢がいっぱい詰まっています。世代を超えて読みつがれている作品です。





## 小学校・低学年向き



### しっばいにかんぱい!

#### 物語

作：宮川ひろ  
絵：小泉るみ子  
出版社：童心社

小学校のリレーで失敗をってしまったおねえちゃん、朝ごはんも食べられないくらい落ちこんでいて、弟の達也はとても心配していました。そんなとき、おじいちゃんから電話がかかってきて…。子どもたちにとって、初めての失敗はショックな出来事でしょう。そんな子どもたちを励まし、勇気づけてくれるお話です。



### まほうのじどうはんばいき

#### 物語

作：やまだともこ  
絵：いとうみき  
出版社：金の星社

学校のかえりみち、こうへいが見つけた変わった変わった自動販売機。ボタンを押すと、そのとき必要なものが何でも出てきます。しだいに販売機に頼っていくこうへいを心配したお母さんが、ボタンを押したことで、販売機は姿を消してしまいます。こうへいはお母さんを恨むけれど…。



### おいしいのぼうけん

#### 物語

作：古田足日・田畑精一  
出版社：童心社

ミニカーのとっこだでんかをしたさととあきは、先生にしかられておしれいに入れられてしまいます。そこで出会ったのは、地下の世界に住むねずみばあさんでした。二人をやっつけようと追いかけてくるねずみばあさん。でも、二人は決してあきらめません。手をつないで走りつづけます。

おいしいという空間が子どもたちの想像力をドンドンかきたてていって  
おもしろい。



### おばけやさん

#### 物語

作：おかべりか  
出版社：偕成社

おばけやさんのあるじは小学生の男の子、たもつ。おばけと一緒にお客様のさまざまな悩みにこたえます。大きくなったり、空を飛んだり…。おばけならではの力を発揮して、みんなのちょっとした頼みから大きな仕事まで、おばけやおばけが引き受けます。4コマまんがも挟んで楽しく読み進められます。



### 大きい1年生と小さな2年生

#### 物語

作：古田足日  
絵：中山正美  
出版社：偕成社

体は大きいけれど弱虫な1年生のまさやと、体は小さいけれどしっかり者で活発な2年生のあきよ。二人は、おたがいを理解しながら友情をはぐんでいきます。あきよのために大冒険に立ち向かうまさやの成長の姿に心打たれます。



### 番ねずみのヤカちゃん

#### 物語

作：リチャード・ウィルバー  
訳：松岡享子  
絵：大社玲子  
出版社：福音館書店

ドドさんの家にすむ母さんねずみと4ひきの子ねずみたちは、すんでいることを気づかれないよう静かに暮らしていました。ところが末の子ねずみヤカちゃんの声の大きいために、ドドさんたちにばれてしまって…。ドドさん夫婦とヤカちゃんのやりとりがとっても楽しい物語です。



### もりのへなそうる

#### 物語

作：わたなべしげお  
絵：やまわきゆりこ  
出版社：福音館書店

てつたくん、みつやくんの兄弟は、食いしん坊で臆病、でもとてもやさしいへんな怪獣「へなそうる」と森の中で出会って、時のたつのも忘れて遊びます。楽しいさし絵がいっぱいで、わくわく楽しい冒険のお話です。



## 小学校・低学年向き



### ふたりはとっても本がすき!

物語

作：如月かずさ  
絵：いちかわなつこ  
出版社：小峰書店

はやく、たくさん読む、チーターのチッタちゃん。ゆっくり、じっくり読む、カバのヒポくん。読み方は違っても、ふたりは本が大好き。読書をテーマにした「心がほわっとあたたかくなる」お話です。

本の読み方は人それぞれ。読書の楽しさを教えてください。



### 1ねん1くみの1にち

くらしと社会 絵本

写真・文：川島敏生  
出版社：アリス館

とうこう 登校、朝の会、国語、算数、休み時間…と、小学校1年生のクラスの日を追った写真絵本です。忘れ物をしたり、いたずらしたり…。子どもたちの声は吹き出しで紹介されていて、楽しいストーリーが展開します。自分の学校とくらべて同じところ、違うところはどんなところでしょう？



### プラスチックのうみ

くらしと社会 絵本

作：ミシェル・ロード  
絵：ジュリア・ブラットマン  
訳：川上拓土  
出版社：小学館

わたしがあたり前のように出しているプラスチックごみがどのように海を汚し、海に暮らす生き物に影響を及ぼしているのでしょうか。きれいな海を取り戻すにはどうしたらいいのでしょうか。美しいイラストと分かりやすい言葉で伝えてくれる絵本です。



### へいわってどんなこと?

くらしと社会 絵本

作：浜田桂子  
出版社：童心社

へいわってどんなこと？—だいすきなうたがうたえる、おもいっきりあそべる、あさまでぐっすりねむれる—子どもたちに身近なことから「平和」を考えることができます。



### みずとはなんじゃ?

しぜんと科学 絵本

作：かこさとし  
絵：鈴木まもる  
出版社：小峰書店

朝おきて、顔をあらう水。うがいをしたり、飲んだりする水。水とはいったいどんなものなのでしょうか。くらしの中で出会う水をおおして、水のふしぎな性質を知り、自然環境に目を向けるきっかけとなるような科学絵本です。



### ひろしまのピカ

くらしと社会 絵本

文・絵：丸木俊  
出版社：小峰書店

1945年8月6日、ピカッという光が、広島ひろしまの空につきぬけました。それは人類にはじめて投下された原子爆弾でした。戦争って本当に悲惨でおそろしいことなのだということが、戦争を知らない子どもたちにも絵を見るだけで伝わります。



### うまれたよ! モンシロチョウ

しぜんと科学 絵本

写真：安田守  
構成・文：小杉みのり  
出版社：岩崎書店

は葉っぱのうらの小さな卵から幼虫が生まれ、青虫、モンシロチョウに成長していくようすが大画面の写真で紹介されています。オタマジャクシやカブトムシなど、子どもたちがよく知っている小さな生き物の成長の様子がよくわかる写真絵本シリーズ「よみかかせ いきものしゃんえほん」の一冊です。





## 小学校・中学年向き

### としょかんライオン



ミシェル・ヌードセン 著 ケビン・ホークス 絵 福本友美子 訳

### としょかんライオン

物語 絵本

作：ミシェル・ヌードセン  
絵：ケビン・ホークス  
訳：福本友美子  
出版社：岩崎書店

図書館は決まりを守れば誰でも入れるところ。そんな図書館にライオンがあらわれ、みんなは大あわて。でも心やさしいライオンは、すぐにみんなと仲良しになります。ところがある日…。本当に大切なことは何かを考えさせる一冊です。

### あらしのよりに



物語 絵本

作：木村裕一  
絵：あべ弘士  
出版社：講談社

オオカミとヤギは、ある嵐の夜、壊れかけた小屋に逃げこみます。真っくらやみでお互いの姿が見えない中、2匹は身を寄せていくうちに、不思議な友情が生まれてきます。お互いを仲間だと勘違いしたオオカミとヤギが友情を深めていくお話です。

### 葉っぱのフレディ

—いのちの旅—

レオ・バスカーリア 著  
みらいなな 訳



### 葉っぱのフレディ

—いのちの旅—

物語 絵本

作：レオ・バスカーリア  
訳：みらいなな  
出版社：童話屋

春に生まれたフレディは、考えることが好きで物知りのダニエルから、いろいろなことを教えてもらいます。春夏秋を過ごし、冬を迎えたフレディは、生きることや死ぬことについて考えます。そして、枝をはなれ、雪の上で思い出したのは、ダニエルから聞いた「いのち」ということばでした。



### 花さき山

物語 絵本

作：斎藤隆介  
絵：滝平二郎  
出版社：岩崎書店

山菜を取りにいったあやは、道に迷ってしまいますが、山の奥できれいな花畑を見つけます。そこにあらわれたやまばから、きれいな花畑の花は、自分のことよりも他人のことを考える思いやりの心から作られていると聞かされます。やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くという花さき山の感動のおはなしです。

人を思いやること、辛抱することの深い意味を語っている。



### じごくのそうべえ

物語 絵本

作：田島征彦  
出版社：童心社

綱渡りの最中に綱から落ちてしまった軽業師のそうべえは、くしかい><ちくあん><ふっかい>と出会います。4人は地獄へ送られますが、えんま大王の前で大暴れます。大暴れしたそうべえは、その後どうなるのか…。上方落語を題材にして作られた絵本です。



### さっちゃんのまほうのて

物語 絵本

作：たばたせいいち  
出版社：偕成社

生まれつき右の手にゆびがないさっちゃん。「しょうがくせいになったら、さっちゃんのゆび、みんなみたいにはえてくる？」とお母さんに聞いたさっちゃん。お母さんの話を聞いてなみだがあふれたさっちゃんですが、周りの人とのかわり成長していきます。

しょうがい障害について考えるきっかけに、とてもよいと思います。





## 小学校・中学年向き

### わたしのいもうと



### わたしのいもうと

物語 絵本

文：松谷みよ子  
絵：味戸ケイコ  
出版社：偕成社

転校先で起きたいじめによって傷つき、登校できなくなった私の妹は心を閉ざしてしまいました。「わたしをいじめたひとたちは、もうわたしを わすれてしまったでしょうね」-残されたこの手紙は妹の心のさげびです。一人ひとりの尊い命を踏みにじる差別について描いた絵本です。



### かたあしだちょうのエルフ

物語 絵本

文・絵：おのきがく  
出版社：ポプラ社

エルフは、若くて強い、すばらしく大きなおすのだちょうです。ライオンとたたかって片足をなくしたエルフですが、くろひょうにねらわれた子どもたちを守るため、ちからをふりしぼってくろひょうとたたかいます。エルフは、くろひょうに勝つことができるでしょうか。

絵に迫力があり想像が膨らむ。主人公の優しさ、強さ、悲しみが胸を打つ。

### 字のないはがき



### 字のないはがき

物語 絵本

原作：向田邦子  
文：角田光代  
絵：西加奈子  
出版社：小学館

戦時中、疎開をすることになった小さな妹に、父はあて名を自分で書いたはがきを持たせました。まだ字が書けない妹に、「元気な日はマルを書いて、毎日一枚ずつポストに入れなさい。」と言いました。はじめは大きなマルでしたが、だんだん小さくなり、やがて…。

75年前に本当にあった話。こんな日常のあったことを考えてほしい一冊。



### フレデリック

物語 絵本

作：レオ=レオニ  
訳：谷川俊太郎  
出版社：好学社

冬に向け、野ねずみたちが食べ物を集める中、フレデリックだけはじっとしています。なぜはたらかないのか聞かれたフレデリックは、「こう見えたって、はたらいてるよ。」と答えます。やがてやってきた寒い冬、フレデリックが集めていたものとは…。教科書にのっている「スイミー」の著者レオ=レオニの作品です。



### ふしぎ駄菓子屋 銭天堂

物語 人気

作：廣嶋玲子  
絵：jyajya  
出版社：偕成社

幸運な人だけがたどりつける、ふしぎな駄菓子屋、銭天堂。そこにはたくさんの魅惑の駄菓子が並び、女主人・紅子がすすめる駄菓子は、どれもその人にぴったりのもの。でも、食べ方や使い方をまちがえると…。

この本をきっかけに図書館に足を運ぶ子も増えました。



### ルドルフとイッパイアッテナ

物語

作：斉藤洋  
絵：杉浦範茂  
出版社：講談社

ひよんなことから、長距離トラックで東京にきてしまった黒猫のルドルフ。波斯猫、イッパイアッテナと出会い、いっしょにノラ猫生活がはじまります。このイッパイアッテナは、とても教養のある猫で、なんと人間の字が読めるのです。ルドルフとイッパイアッテナの冒険と友情の物語です。



## 小学校・中学年向き



### びりっかすの神さま

物語

作・絵：岡田淳  
出版社：偕成社

転校してきた木下始<sup>はじめ</sup>が教室で見たものは、すきとおった男の人でした。「びりっかすさん」と呼ばれ、二十センチくらいで、くたびれた背広とよれよれのネクタイ姿。背中には小さな翼<sup>つばさ</sup>があり、空中を飛ぶこともできます。だんだんクラスの人にも見えるようになっていくのですが…。

クラスの仲間、そして担任<sup>たんにん</sup>の先生のこと「いいな」と思える本です。



### かあちゃん取扱説明書

物語

作：いとうみく  
絵：佐藤真紀子  
出版社：童心社

「家族紹介」をテーマにした作文でかあちゃんについて書いた哲哉。「ぼくちで、一番いばっているのはかあちゃんです。」から始まる作文を読んだとうちゃんからは、「とにかくほめること」というアドバイスをもらいました。哲哉は「かあちゃん<sup>とりあつかい</sup>取扱説明書」を書き始めます。

子、親それぞれの立場<sup>きょうかん</sup>から共感できる作品。



### 火曜日のごちそうはヒキガエル

物語

作：ラッセル・E・エリックソン  
絵：ローレンス・ディ・フィオリ  
訳：佐藤涼子  
出版社：評論社

冬のある日、ヒキガエルのウォートンはおばさん<sup>おばさん</sup>を訪ねるために出かけます。その途中<sup>とちゅう</sup>にミミズクにつかまってしまい、ミミズクの誕生日<sup>たんじょうび</sup>のごちそうにされることに。誕生日である次の火曜日までミミズクの家にいるウォートンですが…。「ヒキガエルとんだ大冒険」シリーズの第一作目です。



### チョコレート戦争

物語

作：大石真  
絵：北田卓史  
出版社：理論社

ある日、小学生の光一と明は、金泉堂名物のチョコレート<sup>きんせんどう</sup>の城をショーウィンドー越しに眺めていました。すると突然、ショーウィンドーが音を立てて割れ、2人は大人たちに犯人<sup>はんにん</sup>にされています。一方的に犯人と決めつけられた子どもたちが、大人たちと戦う物語。テンポよく進むストーリーに、わくわくします。



### マジック・ツリーハウス1 恐竜の谷の大冒険

物語

作：メアリー・ポープ・オズボーン  
訳：食野雅子  
出版社：KADOKAWA

ジャックとアニーは、なかよしきょうだい。ある日、ふたりは森の大きなカシの木の上に、ふしぎなツリーハウスを見つけます。ツリーハウスにある本を広げると…。ツリーハウスからいろいろな国や時代へ冒険<sup>ぼうけん</sup>の旅に出かけていく「マジックツリーハウス」シリーズの第一作目です。



### 長くつ下のピッピ

物語

作：アストリッド・リンドグレン  
訳：大塚勇三  
出版社：岩波書店(岩波少年文庫)

ピッピは、サル<sup>いっしょ</sup>のニルソンさんと馬と一緒に「ごたごた荘」で暮らしています。ママとパパと一緒に暮らしていないけど、隣<sup>となり</sup>の家には友達<sup>とも</sup>のトミーとアニカが住んでいます。ピクニックを計画したり、サーカスで綱渡り<sup>つなわた</sup>をしたりと、ピッピが元気いっぱい大活躍するお話です。



## 小学校・中学年向き



### 大どろぼうホツツェンプロッツ

物語

作：オトフリート＝プロイスラー  
訳：中村浩三  
出版社：偕成社

おばあさんの大切なコーヒーひきが、大どろぼうホツツェンプロッツに盗まれてしまいました。大魔法使いツワケルマンや妖精アマリスも登場して、少年カスパールと友だちゼッペルの大活躍がはじまります。ハラハラドキドキのお話に引き込まれていくこと間違いなし！



### グレッグのダメ日記

物語 ★ 人気

作：ジェフ・キニー  
訳：中井はるの  
出版社：ポプラ社

主人公のグレッグは、自分が将来金持ちの有名になると考えて、その時のために日記を書き始めました。何か面白いことをしようと思うけれど、いつも失敗ばかり。ハロウィーンの日のお祭りなど、様々なトラブルに見舞われる日常が描かれています。



### ココロ屋

物語

作：梨屋アリエ  
絵：菅野由貴子  
出版社：文研出版

ぼくの前に現れた「ココロ屋」のウツロイ博士。博士に「さて、どのココロにいたしましょうか。」と言われ、ぼくは自分のココロを取りかえてみます。やさしいココロ、すなおなおココロ、あたたかいココロ…、いろいろなココロがありますが…。ぼくが気に入ったココロは、どんなココロでしょうか。



### セロひきのゴーシュ

物語

作：宮沢賢治  
画：茂田井武  
出版社：福音館書店

町の活動写真館でセロを弾くゴーシュは、演奏がへたでいつも楽長からいじめられていました。ある日、ゴーシュが練習を終えて帰宅すると、ねこがやってきて演奏を聞かせてほしいと頼みます。その日から毎晩、動物たちに演奏を聞かせることになったゴーシュですが…。ついに迎えた楽団の演奏会はどうだったでしょう。



### しごとば

くらしと社会 📖 絵本

作：鈴木のりたけ  
出版社：ブロンズ新社

普段なかなか見ることができない仕事の現場がリアルな絵で描かれています。必要な道具や仕事の内容、手順も紹介されているので、仕事のイメージがわいてきます。「新幹線運転士」が「すし職人」のお店でおすしを食べるなど、自分の仕事が他の人の役に立っていることもわかります。



### ポリぶくろ、1まい、すてた

くらしと社会 📖 絵本

文：ミランダ・ポール  
絵：エリザベス・ズノン  
訳：藤田千枝  
出版社：さ・え・ら書房

アフリカのガンビアという国に、アイサトという女の人がありました。アイサトがすてた1まいのポリぶくろ。やがてゴミは2まいになり、それが10まいに、ついには100まいになりました。アイサトはじぶんたちでなんとかしようと、なかまたちといっしょにたちあがりました。

環境問題について考えるきっかけを与えてくれます。



## 小学校・中学年向き



### すごいね! みんなの通学路

くらしと社会  絵本

文：ローズマリー・マカーニー  
訳：西田佳子  
出版社：西村書店

世界の様々な地域に住む子どもたちは、どうやって学校に通っているのでしょうか。この作品には、どんな困難にも負けず、毎日けんめいに学校へと向かう世界中の子どもの写真が収められています。そのひたむきな姿は、私たちに勇気と元気を与えてくれます。



### さがしています

くらしと社会  絵本

作：アーサー・ピナード  
写真：岡倉禎志  
出版社：童心社

時計、軍手、弁当箱、ワンピース… 広島平和記念資料館に収蔵されている14の「もの」がガタリベとなり、1945年8月6日にヒロシマで何が起こったのかを伝えます。戦争と平和を考える写真絵本です。



### 命をつなげ! ドクターヘリ2 —前橋赤十字病院より—

くらしと社会

文：岩貞るみこ  
出版社：講談社 (講談社青い鳥文庫)

作品の舞台は、群馬県前橋市にある「前橋赤十字病院」です。一秒でも早く、病気の人やけがを負った人の治療を始めるために、ドクターヘリは今日も空をかけ巡ります。多くの人たちが「命のリレー」のバトンをつなぎ奮闘する、感動のドラマを描いたノンフィクション作品です。



### 火山はめざめる

しぜんと科学  絵本

作：はぎわらふく  
監修：早川由紀夫  
出版社：福音館書店

日本では、火山がうめたてた土地の上に、多くの人々がくらしています。この本は、群馬県にある浅間山をとり上げ、これまでにおきた三つのタイプのふん火のようすなどが描かれています。火山がどのようにふん火するのか、わかりやすくまとめられています。



### ざんねんないきもの事典

しぜんと科学  人気

監修：今泉忠明  
出版社：高橋書店

「ざんねんないきもの」とは 一生けんめいなのに、どこかざんねんないきものたちのこと。「残念な」という視点から生き物たちを見てみると、なんだか愛着がわいてくるものです。写真ではなくイラストで描かれている生き物がなんとも言えず魅力的ですが、さらに、生き物たちの発する一言が笑えます。



### シートン動物記

しぜんと科学

作：アーネスト・トムソン・シートン  
訳：阿部知二  
出版社：講談社 (講談社青い鳥文庫)

きびしい自然の中でたくましく生きる動物たちを見守った野生動物保護の父、シートン。アメリカの博物学者であるシートンが、主に自身の体験や見聞を基に創作した動物物語です。野生動物たちが懸命に生きていることを感じさせてくれる1冊です。



### いのちのおはなし

生き方・考え方  絵本

文：日野原重明  
絵：村上康成  
出版社：講談社

100歳を越えても現役の医師として活動を続けた著者が、「いのち」について小学生に語った絵本です。「いのち」を大切にすること、いのちをどう使おうか決める「こころ」を大切にすること。これから生きる子どもたちにわかりやすく伝えてくれます。



## 小学校・高学年向き



### みえるとか みえないとか

物語 絵本

作：ヨシタケシンスケ  
相談：伊藤亜紗  
出版社：アリス館

宇宙飛行士のぼくは、目が3つあるひとの星にいきます。ぼくは普通なのに、「後ろが見えないなんてかわいそう」「後ろが見えないのに歩けるなんてすごい」といわれてしまい、なんか変な感じ。そこでぼくは目が見えない人と話してみた。すると…。

人には違いがあるのだと考えさせられる一冊。小～中学生まで全てにおすすめできる。



### 二番目の悪者

物語 絵本

作：林木林  
絵：庄野ナホコ  
出版社：小さい書房

金色のたてがみを持つ金ライオンは、一国の王になりたかったのです。自分こそが王にふさわしいと思っていました。ところが、街はずれに住む優しい銀のライオンが「次の王様候補」と噂に聞きます。ある日、金のライオンはとんでもないことを始めたのです。

自分で考え判断し、行動することの大切さを教えてくれます。



### モモ

物語

作：ミヒヤエル・エンデ  
訳：大島かおり  
出版社：岩波書店 (岩波少年文庫)

廃墟となった円形劇場に住む、奇妙な格好をした少女モモ。聞き上手な彼女に話を聞いてもらおうと、ふしぎとよいアイデアが浮かんでくるのです。しかし、だんだんとモモのところを訪れる人はいなくなってしまいます。なぜなら、時間泥棒が人々の自由な時間を奪ってしまっていたのです…。

小学生のうちに読んでほしい名作。人が人らしく生きることを考えさせてくれる本。



### Wonder ワンダー

物語

作：R. J. パラシオ  
訳：中井はるの  
出版社：ほるぷ出版

顔に障害がある10歳の少年オーガスト。何度も手術を受けているオーガストが初めて学校に通い、成長していく物語です。物語は主人公のオーガストだけでなく、姉や同級生などの視点からも語られていて、いろんな立場の見方ができます。



### ぼくらの七日間戦争

物語 人気

作：宗田理  
出版社：KADOKAWA (角川つばさ文庫)

明日から夏休みという終業式の日、東京下町の中学1年2組の男子全員が姿を消しました。廃工場に立てこもり、大人への反乱を起こしたのです。女子たちとの奇想天外な大作戦に、本当の誘拐事件も加わって、大人たちは大混乱。息もつかせぬ展開に最後までハラハラの連続です。



### 精霊の守り人

物語

作：上橋菜穂子  
出版社：偕成社

女用心棒バルサは、新ヨゴ皇国の二ノ妃から皇子チャグムを託されます。新ヨゴ国には初代皇帝が水妖を倒した伝説があるため、水の精霊の卵を宿したチャグムは、父である帝に命を狙われていたのです。人間と精霊が混在する世界で、バルサの活躍を描いた冒険ファンタジーです。



## 小学校・高学年向き



### バッテリー

#### 物語

作：あさのあつこ  
絵：佐藤真紀子  
出版社：KADOKAWA (角川つばさ文庫)

ピッチャーの巧とキャッチャーの豪は中学校で野球部に入部しました。最強のバッテリーを目指しているなかで、二人の葛藤やぶつかりを通して生まれる友情が描かれています。

野球好きは夢中になって読める。



### 星の王子さま

#### 物語

作：サン＝テグジュペリ  
訳：河野万里子  
出版社：新潮社 (新潮文庫)

砂漠に飛行機で不時着した「僕」が会った男の子。それは、小さな小さな自分の星を後にして、いくつもの星をめぐってから七番目の星・地球にたどり着いた王子さまだった。挿絵も素敵なこの本は、ちょっと不思議な物語ですが、70年以上も世界中の人に読み継がれています。

今読んで、大人になってからまた読んでほしい。



### ハリー・ポッターと賢者の石

#### 物語

作：J. K. ローリング  
訳：松岡佑子  
出版社：静山社

ハリーは小さいときに両親が亡くなっていたので、おじさんおばさんの家で育ちました。肩身狭く暮らしていたハリーでしたが、もうすぐ11歳というときに、 hogwarts魔法魔術学校から入学許可証が届きます。実は亡くなった両親は魔法使いだったのです！

理屈抜きで、本を読むのが楽しいと思います。シリーズを読み通すのをオススメします。



### きまぐれロボット

#### 物語

作：星新一  
絵：和田誠  
出版社：理論社

お金持ちのエヌ氏が買ったロボットは、人間と同じようによく仕事をしてくれるが、時々動かなくなる…。この本には、表題作を含め、31編のショートショートがつめ込まれています。一つ一つの物語が短時間で読めるので、ちょっとした気晴らしにも最適です。



### チョコレート工場の秘密

#### 物語

作：ロアルド・ダール  
訳：柳瀬尚紀  
出版社：評論社

チャーリーの町にある世界一のチョコレート工場。でもその工場で働く人をだれも知りません。そんな謎につつまれた工場に、チャーリーたち5人の子どもたちが招待されます。彼らのうち1人には想像を絶する副賞が与えられるとのことですが、次々にハプニングが発生して…。



### くちぶえ番長

#### 物語

作：重松清  
出版社：新潮社 (新潮文庫)

小学4年生のツヨシのクラスに、一輪車とくちぶえの上手なマコトが転校してきました。マコトは「この学校の番長になる！」と宣言します。でも、小さい頃にお父さんを亡くしたマコトは、誰よりも強く、優しく、頼りになる女の子でした。最高の相棒になったマコトとツヨシが駆けぬけた一年間の友情の物語です。



### ドリトル先生アフリカゆき

#### 物語

作：ヒュー・ロフティング  
訳：井伏鱒二  
出版社：岩波書店 (岩波少年文庫)

動物の言葉を話せるようになったドリトル先生。そんな先生のところにアフリカの猿たちが伝染病で苦しんでいるとの知らせが届きます。アフリカに旅立ったドリトル先生でしたが、ジョリギンキ王国の国王に捕らえられてしまっ…。「ドリトル先生」シリーズの第一作目です。



## 小学校・高学年向き



### 白狐魔記1 源平の風

物語

作：斉藤洋  
出版社：偕成社

白駒山の仙人の弟子となって修行し、人間に化けることができるようになったきつね、白狐魔丸が歴史上の事件や人物に遭遇する「白狐魔記」シリーズの第一作目です。源義経一行に会った白狐魔丸は、武士について考えます。

時代を超えて生きるきつねを通して、人間社会が描かれた歴史ファンタジー。



### コロボックル物語1 だれも知らない小さな国

物語

著：佐藤さとる  
出版社：講談社

小学3年生のぼくは、もちの木をさがしに行った小山で小さな三角形の平地を見つけました。どこかふしぎな感じのするこの場所で、ぼくは小指くらいの小さな人たち<コロボックル>に出会います。せいたかさんと呼ばれるぼくとコロボックルとの交流を描いた「コロボックル物語」シリーズの第一作目です。

読書の楽しさに気付くことができるファンタジー。シリーズが続くのもよい。



### ヒロシマ消えたかぞく

くらしと社会 絵本

著：指田和  
写真：鈴木六郎  
出版社：ポプラ社

原爆投下前の戦時中、広島町の笑顔あふれる家族の暮らしがありました。散髪屋の鈴木六郎さんは、カメラが趣味で、家族写真を撮りためていました。しかし、あの日広島に落とされた原爆によって、六郎さん一家は消し去られてしまいます…。何気ない日常こそが大事であると気づかせてくれる写真絵本です。

戦争について、写真というイメージしやすい形で知ることができる。



### 霧のむこうのふしぎな町

物語

作：柏葉幸子  
絵：杉田比呂美  
出版社：講談社（講談社青い鳥文庫）

小学6年生のリナは、夏休みに生まれて初めてたった一人で旅に出ます。向かったのはお父さんの知り合いが住んでいる「霧の谷のふしぎな町」。霧の谷の森をぬけて、リナの目の前に現れたのは、外国のような町並みでした。この町でリナは不思議な力を持つ人たちと出会います。



### 宝島

物語

作：R・L・スティーヴンスン  
訳：海保真夫  
出版社：岩波書店（岩波少年文庫）

ジム少年は、両親が経営する旅館で急死した老海賊が残した「ある孤島の海図」を発見します。そして、医者のリヴィシー先生らと財宝を探しに孤島に向けて出航します。海賊との交戦、島に置き去りにされた老海賊…。果たして、宝物は無事に発見されるのでしょうか。



### 虹いろ図書館のへびおとこ

物語

作：櫻井とりお  
出版社：河出書房新社

小学校6年生の火村ほのかは、父の仕事の都合により転校した小学校でいじめられ、学校に行けなくなってしまいました。やがて、ほのかは学校に行くふりをして古びた図書館に通うようになります。この図書館で、みどり色の司書、謎の少年、そしてたくさんの本に出会うことで、ほのかの世界が少しずつ動き出します。



### ランドセルは海を越えて

くらしと社会 絵本

写真・文：内堀タケシ  
出版社：ポプラ社

ランドセルをアフガニスタンに贈る活動を紹介した写真絵本です。紛争が長くつづいているアフガニスタンでは、ランドセルを背負って学校へ行くことはとても大きな意味を持ちます。子どもたちのうれしそうな笑顔に、学ぶことのすばらしさを感じます。



## 小学校・高学年向き



### こども六法

くらしと社会

著：山崎聡一郎  
出版社：弘文堂

子どものときから、やってはいけないことの線引きをきちんと理解することや、もし自分が犯罪の被害にあってしまったら、現状を正しく理解し、適切な対応が取れるようにという願いで制作された本です。難しい法律を、誰でも読めるようにイラスト付きで解説しています。

### 古生物のサイズが実感できる!リアルサイズ古生物図鑑



しぜんと科学

著：土屋健  
監修：群馬県立自然史博物館  
出版社：技術評論社

水揚げされた海洋動物アノマロカリス、犬と昼寝する哺乳類の親戚ディクトドン…。様々な時代の様々な古生物のイラストを、現代の身近な風景に配置した図鑑です。一般的な図鑑とは違い、数字だけではわからない、サイズ感を直感的につかむことができます。



### 失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!

生き方・考え方

著：大野正人  
出版社：文響社

多くの伝記で紹介されているいわゆる偉人たちも、決してずっと成功し続けてきたわけではありません。今に名を残すすごい人も、たくさん失敗をしてきています。だから、「失敗しないと人生損だよ!」くらいの気持ちでどんどん新しいことにチャレンジしてほしい。読めば勇気がわいてくる新しい心の教科書です。



### 答えのない道德の問題 どう解く?

生き方・考え方

文：山崎博司  
絵：木村洋/二澤平治仁  
出版社：ポプラ社

「ついていい嘘と、ついちゃいけない嘘ってどう違うんだろう?」「どうしてお母さんは、ボクの嫌いな勉強をおしつけてくるんだろう?」—どう考えてどう答えたらよいか、大人でも難しい問題を子どもが考えて自分なりの意見を出していきます。その問題、あなたは どう考えますか?



### ジュニア空想科学読本

しぜんと科学 ★ 人気

著：柳田理科雄  
絵：藤嶋マル  
出版社：KADOKAWA (角川つばき文庫)

マンガやアニメ、昔話などでは、現実にはありえない空想のできごとが起こっていますね。この空想のできごとを科学的に考えたらどうなるのでしょうか?子どもがよく知っている話を取り上げているので、楽しみながら科学に触れることができます。



### クジラのおなかからプラスチック

しぜんと科学

著：保坂直紀  
出版社：旬報社

このままでは2050年に海の魚の重量を超えるといわれるプラスチックごみ。地球温暖化に並ぶ環境問題として、いま世界が注目しています。とくにプラスチックごみが集まりやすいとされる日本の海。その実態は?人体への影響は?自分たちにできることは?環境問題を考えるきっかけになります。



### 君たちはどう生きるか

生き方・考え方

著：吉野源三郎  
出版社：マガジンハウス

主人公はコペル君というあだ名の中学2年生。父親は病気で他界しているのですが、近所にすむ叔父さんや周囲の人々との交流を通じて、考え、行動していきます。コペル君に語りかけるようにして紡がれた叔父さんのノートは、コペル君の思考とともに、読者に本書の題名の意味を考えさせてくれます。

自分で考え、行動することの大切さを語りかけている。





## 小学校・高学年向き



### 考える練習をしよう

生き方・考え方

著：マリリン・パーンズ  
絵：マーサ・ウェストン  
訳：左京久代  
出版社：晶文社

頭の中がこんがらかってどうにもならない。このごろ何もかもうまくいかない。見当ちがいばかりしている。あーあ、もうだめだ！この本は、そういう経験のある人のために書かれた本です。ぶつかった問題をしっかり見つめ、新しいしかたで考えることがこの本のテーマです。

目にある扉を開くたびにだんだんと広くて明るい部屋になっていくような本。



### 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

ノンフィクション

絵本

編：くさばよしみ  
絵：中川学  
出版社：汐文社

2012年、ブラジルで環境問題についての国際会議が開かれ、各国の代表者が順番に意見を述べました。そして、会議が終わりに近づいたころ、南米ウルグアイのムヒカ大統領の演説が始まりました。大統領はどのような話しをしたのでしょうか。大統領の演説を子ども向けの言葉で紹介した絵本です。



### エリカ 奇跡のいのち

ノンフィクション 絵本

文：ルース・バンダー・ジー  
絵：ロベルト・インノチェンティ  
訳：柳田邦男  
出版社：講談社

『お母さまは、じぶんは「死」にむかひながら、わたしを「生」にむかってなげたのです』— 愛するわが子を汽車から投げだすという究極の選択をした母の思いは、どれほどのものだったでしょう。わが子を思う母親の強さ、愛に心を揺さぶられます。第2次世界大戦中のドイツで奇跡的に生きのびた、ひとりの女性の物語です。



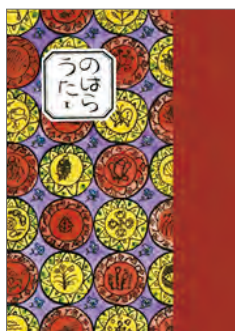
### ありがとう、フォルカーせんせい

ノンフィクション

絵本

作・絵：パトリア・ボラッコ  
訳：香咲弥須子  
出版社：岩崎書店

トリシャは絵を描くことはとても上手。だけど、学校へ行くようになっても字が読めません。くねくねした形に見えるだけ。ひとりぼっちで悩んでいたトリシャは5年生になったとき、新しい先生と出会い…。学習障害(LD)をテーマにした作者の自伝的なおはなしです。



### のはらうた

詩

著：くどうなおこ  
出版社：童話屋

作者は、のはらみんなの代理人を名のる、詩人のくどうなおこさんです。くどうさんがのはらを散歩していると、かまきりやみのむしや風がうたをうたっています。そのうたを書きとめて一冊にまとめたのが「のはらうた」です。のはらのみんなになったつもりで、声に出して読んでみるのもよいですね。



### マザー・テレサ あふれる愛

ノンフィクション

著・写真：沖守弘  
出版社：講談社(講談社青い鳥文庫)

18歳で生まれ育った祖国を離れ、修道女としてインドへ渡ったマザー・テレサ。貧しさに苦しむ人びとのために生涯をささげ、1979年にノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサの生き方と、その活動の様子を知ることができます。



### マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女

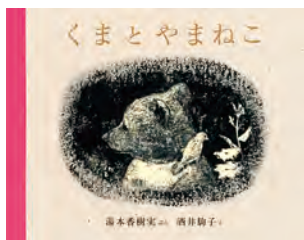
ノンフィクション

著：マララ・ユスフザイ/パトリア・マコーミック  
訳：道傳愛子  
出版社：岩崎書店

パキスタンに生まれたマララは、女の子が学校に通う権利を訴え、武装勢力タリバンの銃撃を受けました。奇跡的に回復を遂げたマララはその後、2014年に17歳でノーベル平和賞を受賞します。今も活動を続けるマララが、若い読者に向けて思いを語りかけます。



## 中学生向き



### くまとやまねこ

物語  絵本

文：湯本香樹実  
絵：酒井駒子  
出版社：河出書房新社

突然、最愛の友だち、ことりをなくしてしまつたくま。暗くしめきつた部屋に、ひとり閉じこもってたくまですが、やまねここと出会い、新たな一步をふみ出します。愛するものを亡くした悲しみを乗り越えた先に、あたらしい時のかがやきを見つける物語です。



### かがみの孤城

物語  人気

著：辻村深月  
出版社：ポプラ社

主人公は学校での居場所をなくし、閉じこもっていた中学1年のころ。ある日、突然部屋の鏡が光り始め、鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはこころと似た境遇の中学生が集められていて…。伏線がいくつも仕掛けられていてページをめくる手がとまらなくなる、そんな一冊です。



### 西の魔女が死んだ

物語

著：梨木香歩  
出版社：新潮社（新潮文庫）

中学に進んでもまもなく学校へ行けなくなったまいは、大好きなおばあちゃんのものでしばらく過ごすことになります。そこでまいは、おばあちゃんから「魔女」になるための手ほどきを受けますのですが、その修行は「何でも自分で決める」というものでした。



### 赤毛のアン

物語

著：ルーシー・モード・モンゴメリ  
訳：村岡花子  
出版社：新潮社（新潮文庫）

プリンス・エドワード島で暮らす兄妹マッシュとマリラは、男の子を引き取ることにします。ところが、やってきたのは赤毛の女の子、アンでした。マリラは、アンを孤児院に送り返そうとしましたが、明るくおしゃべりなアンに心を動かされて引き取ることにします。空想好きでおしゃべりなアンの成長物語です。



### きみの友だち

物語

著：重松清  
出版社：新潮社（新潮文庫）

足の不自由な恵美と病気がちな由香は、ある事件がきっかけでクラスのだれとも付き合わなくなりました。学校の人気者ブンちゃんは、できる転校生モトくんのことが面白くありません。優等生にひねた奴。弱虫に八方美人。「友だち」の本当の意味をさがす作品です。

「友だち」の意味をさがすという、中学生には、いちばんリアルなテーマの作品です。



### あと少し、もう少し

物語

著：瀬尾まいこ  
出版社：新潮社（新潮文庫）

陸上部の名物顧問が異動し、代わりにやってきたのは頼りない美術教師。部長の榊井は、中学最後の駅伝大会に向けてメンバーを募り練習をはじめます。性格も思いもバラバラな寄せ集めのメンバー6人が襷をつなぎ駅伝に臨む、中学生たちの夏を描く青春小説です。



### 銀河鉄道の夜

物語

著：宮沢賢治  
出版社：岩波書店（岩波少年文庫）

丘の頂上で満点の星空を見ていたジョバンニは、気づくと列車の中にいました。不思議なことに、そこにはジョバンニの親友カムパネルラもいました。列車のなかで二人はいろいろな人に出会い、そして、夢から覚めると…。宮沢賢治の童話作品の代表作です。



### 夢をかなえるゾウ

物語

著：水野敬也  
出版社：文響社

夢をかなえたい主人公が神様・ガネーシャからの課題に挑んでいくという小説仕立ての自己啓発本です。ガネーシャは関西弁を話すユニークなキャラクターで、誰にでも読みやすい内容になっています。「夢を実現するための一歩」として、一度手に取ってみてください。



## 中学生向き



### 君の臍臓をたべたい

物語 ★ 人気

著：住野よる  
出版社：双葉社

ある日、高校生の僕は病院で一冊の文庫本を拾います。タイトルは「共病文庫」。それはクラスメイトの山内桜良が綴った、秘密の日記帳でした。偶然にも彼女の秘密を知ることとなり、僕と彼女の交流が始まります。生と死、そして人生について考えさせられる小説です。



### 線は、僕を描く

物語

著：砥上裕將  
出版社：講談社

両親を事故で亡くしてしまった大学生の青山霜介。アルバイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山と出会い、習い始めます。はじめての水墨画に戸惑いながらも魅了されていく霜介は、線を描くことで徐々に前を向いて生きていきます。



### アーモンド

物語

著：ソン・ウォンピョン  
訳：矢島暁子  
出版社：祥伝社

アーモンド(扁桃腺)が人より小さく、人の感情が分からない高校生のユンジェ。おばあちゃんは、彼を「かわいい怪物」と呼びました。そんな彼の前に、もうひとり怪物ゴニが現れます。激しい感情を持つゴニとの出会いは、ユンジェを大きく変えていきます。

感情って？色々な感情のわきおこる中学生時代に是非読んでほしい一冊。



### ある晴れた夏の朝

物語

著：小手鞠るい  
出版社：偕成社

広島・長崎に落とされた原子爆弾の是非について、主人公である日系人メイをはじめ、それぞれ異なるルーツを持つアメリカの高校生8人が討論をします。肯定派、否定派に分かれ、どのような議論が繰り広げられるのでしょうか。そして、その勝敗の行方は…。戦争と平和について、新たな角度から考えさせられる作品です。



### 蜘蛛の糸・杜子春

物語

著：芥川龍之介  
出版社：新潮社(新潮文庫)

ある日のこと。御釈迦さまは極楽の蓮池を散歩中に、蓮の池の下にある地獄をのぞきました。そこで目についたのは、あらゆる悪事を働いた大泥棒のカンダタ。彼にも、ほんの少しの慈悲があったことを思い出した御釈迦さまは、救いの糸を降ろしますが…。

苦しみで満ちたこの世界にこれから生きる子どもたちにぜひ読んでもらいたい一冊。



### 昔話法廷

物語

編：NHK E テレ「昔話法廷」制作班  
出版社：金の星社

「三匹のこぶた」や「白雪姫」など、よく知られた昔話の登場人物が現代の法廷で裁かれます。審議の後、裁判員はどのような判断をするのでしょうか…。裁判員制度を考えるNHK E テレの番組を小説化した本です。



### くちびるに歌を

物語

著：中田永一  
出版社：小学館(小学館文庫)

長崎県五島列島のある中学校合唱部では、顧問の先生が産休に入る代理として、柏木先生が臨時に指導に入ることになりました。美人で元神童と呼ばれた柏木先生を目当てに男子が多数入部しましたが、まじめに練習しない彼らと女子部員の間で対立が起こり…。

胸がアツくなる青春文学です。



### 夜のピクニック

物語

著：恩田陸  
出版社：新潮社(新潮文庫)

夜を徹して八十キロを歩き通すという、高校生活最後の一大イベント「歩行祭」。いつもとは違う夜を、ある生徒は学校生活の思い出や卒業後の夢などを語りつつ、ある生徒は秘めた思いを胸に抱きながら歩き続けます。青春時代に読んでほしい一冊です。



## 中学生向き



### ライオンのおやつ

物語

著：小川糸  
出版社：ポプラ社

医師から余命を告げられた雫は、最後の日々を過ごす場所として瀬戸内の島にあるホスピスを選びます。ホスピスでは、毎週日曜日、入居者が生きている間にもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつの日」がありました。平凡な毎日の尊さを感じずにはられない一冊です。



### アルジャーノンに花束を

物語

著：ダニエル・キイス  
訳：小尾芙佐  
出版社：早川書房 (早川文庫)

幼児並みの知能しかない青年チャーリーは、ある日、大学の教授から人工的に知能を高める人体実験に誘われました。被験者となり、同じ実験を受けている白ねずみのアルジャーノンと競争していきます。チャーリーとアルジャーノンが最後に見たものとは…。

人間にとって大切なものは何か。人生の様々な問題と喜怒哀楽を描く物語です。



### 夏の庭 The Friends

物語

著：湯本香樹実  
出版社：新潮社 (新潮文庫)

小学校最後の夏。三人の少年たちは、人が死ぬ瞬間を見るために、一人の老人の観察をはじめます。少しずつ仲良くなり、観察はやがて交流に変わりました。これから大人になっていく少年と、人生の終わりを迎える老人の生と死の物語です。



### DIVE!!

物語

著：森絵都  
出版社：KADOKAWA (角川文庫)

高さ10メートルの高台からダイブし、わずかな時間の演技で勝負する飛込み競技。この一瞬を競う競技に魅せられた少年、知季、要一、飛沫の3人はコーチに反発しながらも、ダイビングクラブ存続のためオリンピックを目指します。

悩みを抱えながらも前に進む姿がカッコイイ!



### 舟を編む

物語

著：三浦しをん  
出版社：光文社 (光文社文庫)

出版社の営業部で変人として持て余されていた馬締は、辞書編集部に異動となります。個性的なメンバーと共に、新しい辞書『大渡海』の完成に向け、右往左往します。問題が山積みの辞書編さんは、果たして無事に完成するのでしょうか。



### なぜ僕らは働くのか

くらしと社会

監修：池上彰  
出版社：学研プラス

仕事、お金、働きがい、AIの台頭、多様性の尊重、人生100年時代…。働くうえで考えるべき様々なテーマをストーリー仕立てで多角的に伝えます。将来どんな職業に就きたいのか漠然とした不安を抱える中学生にとっても、明るい希望が持てるような前向きになれる一冊です。



### ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー

くらしと社会

著：ブレイディみかこ  
出版社：新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、英国ブライトンにある元・底辺中学。ここで出会うのは、人種差別丸出しの美少年やジェンダーに悩むサッカー小僧。世界の縮図のような日常を、著者である母ちゃんとともに考え悩み、乗り越えていくノンフィクションです。

社会の多様性について知り、考えることができる。



### サピエンス全史 文明の構造と人類の幸福

くらしと社会

著：ユヴァル・ノア・ハラリ  
訳：柴田裕之  
出版社：河出書房新社

ホモ・サピエンスが地球上の頂点に君臨し、文明を築いたのはなぜか。その謎を「虚構を信じる」という特殊な能力から読み解きます。人類史全体を俯瞰することで、現代社会を鋭くえぐる世界的に話題となった一冊です。

難しそうで手に取りにくいですが、とてもわかりやすく書かれている。



## 中学生向き



### 平和のバトン

くらしと社会

著：弓狩匡純  
出版社：くもん出版

「このままでは、原爆のことが忘れられてしまう」と、勇気を振りしぼって話しはじめた被爆者の記憶を、美術を学ぶ高校生が絵にして記録する「次世代と描く原爆の絵」プロジェクトが、2007年にスタートしました。生徒たちは証言者と何度も会って話を聞き、一枚の作品を描いていく。その姿は、まさにバトンが手渡された瞬間です。



### ロウソクの科学

しぜんと科学

著：ファラデー  
訳：三石巖  
出版社：KADOKAWA (角川文庫)

製本工から夢を叶え、偉大な科学者になったファラデー。ファラデーは講演に集まった少年少女達へ、一本のロウソクを通して、科学の面白さ、自然の法則、人間との交わりについて語りかけ、実験を始めます。時代を超えて、常に理科の先生が子どもたちに読んでもらいたいと考える名作です。



### 世界でいちばん素敵な 夜空の教室

しぜんと科学

監修：多摩六都科学館天文チーム  
写真：日本星景写真協会  
出版社：三オブックス

夜空や星に関する素朴な疑問を、美しい星空写真とともに解説したビジュアルブック。星座や月にまつわる神話や伝説も数多く紹介されています。初心者でも分かりやすい内容で、綺麗な写真を見るだけでも心が癒やされます。科学や芸術などさまざまな分野を取り上げている「世界でいちばん素敵な教室」シリーズの一冊です。



### 心を整える。 勝利をたぐり寄せるための56の習慣

生き方・考え方

著：長谷部誠  
出版社：幻冬舎

サッカー日本代表キャプテンとしてワールドカップに出場した長谷部誠選手による自己啓発本。彼は、なぜあらゆる指揮官に重宝され、勝利を呼び込むのか。「心は鍛えるものではなく、整えるもの」。いかなる時も安定した心を備える、その秘訣が凝縮されています。

サッカーをする子もしない子もこの本を読んで大人になった自分を想像して欲しいです。



### 嫌われる勇気 自己啓発の源流「アドラー」の教え

生き方・考え方

著：岸見一郎／古賀史健  
出版社：ダイヤモンド社

青年の「どうすれば人は幸せに生きることができるか」という哲学的な問いに、哲人はきわめてシンプルかつ具体的な“答え”を提示します。欧米で多くの賛同を得ているアドラー心理学を、対話という形の物語で紹介しています。

考え方の幅が広がり、楽になります。



### 本当の「頭のよさ」って なんだろう？

生き方・考え方

著：齋藤孝  
出版社：誠文堂新光社

頭のよさは、生きていく力、現実を変えていく力です。「勉強するのはなんのため？」「学校に行く意味って？」など、子どもたちに身近なテーマから、一生使えるものの考え方を身につけて、頭のよさを磨いていく方法について教えてくれる一冊です。



### 14歳の君へ どう考えどう生きるか

生き方・考え方

著：池田晶子  
出版社：毎日新聞社

本書は2007年に亡くなった哲学者、池田晶子さんが、14歳の中学生向けに書いた「人生の教科書」です。友愛・個性・幸福・人生などの16のテーマを設け、中学生に優しく語りかけるような文章で「自ら考える力に目覚める」重要性を説いています。



### アンネの日記

ノンフィクション

著：アンネ・フランク  
訳：深町真理子  
出版社：文藝春秋 (文春文庫)

ナチス占領下のドイツで、多感な少女時代を送っていたアンネ・フランク。ユダヤ人迫害から逃れるため、一家で隠れ家生活に入った年から連行されるまでの約2年間にわたり日記を書き続けます。アンネが残した日記からは、戦争の恐怖と生きることの尊さが伝わってきます。

歴史的にも価値のある名著なので、義務教育最終段階の生徒に読んでほしい。

## ● 掲載図書一覧 ●

### 物語

絵本	ともだちや	3
絵本	わすれられないおくりもの	3
絵本	おまえ うまそうだな	3
絵本	りんごかもしれない	3
絵本	おこだでませんように	3
絵本	100万回生きたねこ	3
絵本	教室はまちがうところだ	4
絵本	ずっと ずっと だいすきだよ	4
絵本	どんなかんじかなあ	4
絵本	しゅくだい	4
絵本	なまえのないねこ	4
絵本	こんとあき	4
絵本	王さまと九人のきょうだい	4
絵本	いろいろへんないろのはじまり	5
絵本	かいじゅうたちのいるところ	5
絵本	スーホの白い馬	5
絵本	おおきなきがほしい	5
	エルマーのぼうけん	5
絵本	かぜのでんわ	5
	ふたりはともだち	5
	しっばいにかんぱい!	6
	おいしいのぼうけん	6
	番ねずみのヤカちゃん	6
	まほうのじどうはんばいき	6
	おばけやさん	6
	大きい1年生と小さな2年生	6
	もりのへなそうる	6
	ふたりはとつても本がすき!	7
絵本	としょかんライオン	8
絵本	あらしのよるに	8
絵本	葉っぱのフレディ -いのちの旅-	8
絵本	花さき山	8
絵本	じごくのそうべえ	8
絵本	さっちゃんのまほうのて	8
絵本	わたしのいもうと	9
絵本	字のないはがき	9
	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂	9
絵本	かたあしだちょうのエルフ	9
絵本	フレデリック	9
	ルドルフとイッパイアッテナ	9

	びりっかすの神さま	10
	火曜日のごちそうはヒキガエル	10
	マジック・ツリーハウス1 恐竜の谷の大冒険	10
	かあちゃん取扱説明書	10
	チョコレート戦争	10
	長くつ下のピッピ	10
	大どろぼうホッツェンプロッツ	11
	ココロ屋	11
	グレッグのダメ日記	11
	セロひきのゴーシュ	11
絵本	みえるとかみえないとか	13
	モモ	13
	ぼくらの七日間戦争	13
絵本	二番目の悪者	13
	Wonder ワンダー	13
	精霊の守り人	13
	バッテリー	14
	星の王子さま	14
	ハリー・ポッターと賢者の石	14
	きまぐれロボット	14
	チョコレート工場の秘密	14
	くちぶえ番長	14
	ドリトル先生アフリカゆき	14
	白狐魔記1 源平の風	15
	コロボックル物語1 だれも知らない小さな国	15
	霧のむこうのふしぎな町	15
	宝島	15
	虹いろ図書館のへびおとこ	15
絵本	くまとやまねこ	18
	かがみの孤城	18
	西の魔女が死んだ	18
	赤毛のアン	18
	きみの友だち	18
	あと少し、もう少し	18
	銀河鉄道の夜	18
	夢をかなえるゾウ	18
	君の隣臓をたべたい	19
	線は、僕を描く	19
	アーモンド	19
	ある晴れた夏の朝	19
	蜘蛛の糸・杜子春	19

昔話法廷	19
くちびるに歌を	19
夜のピクニック	19
ライオンのおやつ	20
夏の庭 The Friends	20
舟を編む	20
アルジャーノンに花束を	20
DIVE!!	20

## くらしと社会

絵本 プラスチックのうみ	7
絵本 1ねん1くみの1にち	7
絵本 へいわってどんなこと?	7
絵本 ひろしまのピカ	7
絵本 しごとば	11
絵本 ポリぶくろ、1まい、すてた	11
絵本 すごいね!みんなの通学路	12
命をつなげ!ドクターヘリ2 -前橋赤十字病院より-	12
絵本 さがしています	12
絵本 ヒロシマ消えたかぞく	15
絵本 ランドセルは海を越えて	15
こども六法	16
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	20
なぜ僕らは働くのか	20
サピエンス全史 文明の構造と人類の幸福	20
平和のバトン	21

## しぜんと科学

絵本 みずとはなんじゃ?	7
絵本 うまれたよ! モンシロチョウ	7
ざんねんないきもの事典	12
絵本 火山はめざめる	12
シートン動物記	12
古生物のサイズが実感できる! リアルサイズ古生物図鑑	16
ジュニア空想科学読本	16
クジラのおなかからプラスチック	16
世界でいちばん素敵な夜空の教室	21
ロウソクの科学	21

## 生き方・考え方

絵本 いのちのおはなし	12
失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!	16
答えのない道德の問題 どう解く?	16
君たちはどう生きるか	16
考える練習をしよう	17
嫌われる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教え	21
14歳の君へ どう考えどう生きるか	21
心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣	21
本当の「頭のよさ」ってなんだろう?	21

## ノンフィクション

絵本 エリカ 奇跡のいのち	17
絵本 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	17
絵本 ありがとう、フォルカーせんせい	17
マザー・テレサ あふれる愛	17
マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女	17
アンネの日記	21

## 詩

のはらうた	17
-------	----

このブックリストをみて  
気に入った本をみつけたら  
ぜひ、学校や市町村の図書館で  
探してみてくださいね。

生涯を通じて  
学ぶ・楽しむ・考える「読書」の推進



群馬県読書活動推進のページはこちら  
[https://www.pref.gunma.jp/03/x38g\\_00068.html](https://www.pref.gunma.jp/03/x38g_00068.html)

編集・発行 群馬県教育委員会生涯学習課

電話 027-226-4662

E-mail kigakushu@pref.gunma.lg.jp

令和3年8月発行